

白山在住だった会員の金井桂子様が1月15日に旅立たれました。草花のスケッチや編み物の得意な方でした。もちろん消費者の会でもご活躍いただきました。亡くなる直前のみごとなスケッチが、会場にも飾られていました。心からご冥福を祈ります。

## バス見学会の報告

1月28日に29名の参加を得てバス見学が行われました。加藤マリ子さんに報告を書いてもらいました。お読み下さい。

### 雪印メグミルク野田工場 (午前)

H23年に(株)日本ミルクコミュニティと(株)雪印乳業が経営統合して「雪印メグミルク株式会社」が設立。全国23か所。野田工場は、東京ドーム1.8倍の敷地面積。

◆案内の方の説明から「そうだったんだ」と思ったことあれこれ。

① 牛乳(生乳を加熱、殺菌したもの、他の物を混ぜることはない)、

加工乳(牛乳分であるクリーム、脱脂粉乳、バターを使用し、成分を調整)

乳飲料(上記以外の乳製品を主体にしたもの)

② 牛乳パックの屋根部分にある「きりかき(切欠き)」は高齢者や視覚障害者に配慮したバリアフリー対策とのこと。この商品が「牛乳」であることを示す「食品表示」だったのです。ちなみに「骨太」は乳飲料なので切欠き無し。

③ パックジュースの工程にはびっくり。四角のパックに充填するのではなく、1枚の紙を長い筒状にしてジュースを注入し、機械で途中を何か所も閉じて裁断し、それから箱型にするのでした。いつもながら、機械を考えた人に敬服!

### こうのとりの里 (午後)

◆株野田自然共生ファームの木全(きまた)さんの説明

① この地区は沼の埋め立て地だったが、常磐新線(つくばエクスプレス)の計画に伴い大規模な住宅開発計画が持ち上がった。それに対し、自然保護団体から反対運動がおこり、自然保護の視点からの要望書が出されていた。しかし、バブルがはじけ開発会社は撤退し、土地の処分を表明。すでに土地は荒廃した状況だった。

② 市民団体が里山ミュージアムを提案し、2004年末に野田市が「自然環境保護対策基本計画」を全会一致で策定。その後、区域内にサシバの営巣が見つかったことから基本計画を見直し全面保護に転換し、「自然共生型地域づくり」を打ち出す。「保全」「管理」「活用」を柱にした。

③ 2007年「野田市貴重な野生動植物の保護のための樹林地の保全に関する条例」を施行。サシバ、オオタカなどの生息する斜面林保全に向けて市は山林等を購入し、樹林地保全に努めた。

④ しかし、農地法により市は農地を購入することはできない。そこで、99%市が出資した(株)野田自然共生ファームが誕生する。

ファームは水路や農道をつくり、復田をし、竹林の間伐なども行っている。

⑤ こういった自然再生の取り組みを拡げるシンボルとしてH24年にコウノトリを多摩動物園から譲ってもらった。コウノトリが野生で生きられる餌となる生き物がたくさんいる豊かな自然を次の世代に残すために。

⑥ 「生物多様性国家戦略2012~2020」に30の自治体が連携するこの取り組みが明記されたのは、画期的であるとのこと。

## ◆コウノトリ飼育施設

2羽の親のコウノトリが「見て！見て！」と言わんばかりに止まり木にすくと立っていました。昨年は、施設が用意した巣の台には営巣せず、横の止まり木に独自に巣を作ったそうです。巣は枝などを組んで直径1mもあるものでした。飼育員の女性の武田さんは「今年はどこに作るでしょうか」と楽しみな様子。

親が繁殖期に入るため、子どものコウノトリ2羽（すでに親と同じ大きさ）は隣の場所に移されていました。

おまけに、餌場の一つに・・・何と！美しいカワセミがいるではありませんか。ここが気に入ったらしく私たちが見学していてもずっといて、何回かエサのドジョウを食べる姿も見せてくれました。

## ◆水田

写真で見た荒れ果てた土地がきれいな水路となっていました。斜面からの水を利用して田んぼに水が張ってありました。この地以外にも8件の農家が現在、冬季湛水に協力しているとのことでした。水路から田んぼに魚道が作られ、産卵場所が確保されていました。この日も取締役の鬼頭さんが自らショベルカーを動かしていました。

## ◆生物

今年飛来した灰色がかかった子ハクチョウ2羽が、畔で気持ちよさそうに日向ぼっこ。サシバも空を飛んでいました。農薬の使用をやめてから数年でヘイケボタルが出てきたそうです。たっぷりと生物が復活していると感じました。

## ◆連携

「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」に30の自治体が集まっています。もちろん我孫子も。でも、我孫子はもう少し積極的に連携をと切に思いました。

## 3月の定例会のお知らせ

- ・3月3日（月）13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8階 調理室

定例勉強会として、2月は「消費税と付加価値税の違い」を会員の松田さんからお話しいただきました。3月は雪で参加できなかった方もいますので、生活展のパネルの説明をします。

どなたでも歓迎です。お出かけ下さい。

## 消費生活展は雪でした

2月8日（土）、9日（日）に消費生活展を開きました。ご存知の通り40年ぶりの大雪。参加者は例年の半分でしたが、ゆっくりと話を聞いてくださる方が多く、無事終了しました。雪の中ご協力いただいた方、ありがとうございます。

## 食品をめぐる2題

### 1 食材偽装事件の後始末

阿南消費者庁長官の発言で、「偽装をした場合は、課徴金などの法的措置を検討中。法律を作りたい」と。実現して欲しいですね。

### 2 トランス脂肪酸について

諸外国で規制が始まっているにもかかわらず、日本がまだ規制していないもの。

「トランス脂肪酸は、天然の植物油にはほとんど含まれず、水素を付加して硬化した部分硬化油を製造する過程で発生するため、それを原料とするマーガリン、ファットスプレッド、ショートニングなどに多く含まれる。一定量を摂取するとLDL コレステロール（悪玉コレステロール）を増加させ心臓疾患のリスクを高めるといわれ、2003年以降、トランス脂肪酸を含む製品の使用を規制する国が増えている。（ウィキペディアから一部引用）」というものです。

バターは動物性だからと、植物性のマーガリン使用の方が多いと思われそうですが、要注意です。遅ればせながら、製造業者が「トランス脂肪酸低減・非使用」を表示しているものが出て来ました。食品安全ネットでも国へ働きかけをしています。

## 夜中にオレオレの電話が

Sさんのところに夜12時に電話。「○男だけど、インフルエンザになって高熱が出て・・・」と。「あなた夕方まで家にいたけど、そんな様子なかったじゃない」「あれから帰って急に悪くなって・・・」寝入ったところを電話の音で起こされてしばらくあわてたけれど、少し冷静になったSさん。「わかった！あなたオレオレさんね」と。ガチャンと電話が切れたそうです。

あの手この手は絶えることがありません。気をつけましょう。

